

市内を彩る 季節の花巡り



市の花「ヒマワリ」の他にも、いろいろな花が季節ごとに咲くよ。市内を散歩しながら、たくさんの花との出会いを楽しもう♪

4月

サクラ

1

相模が丘仲よし小道（さくら百華の道）は、約1.6キロメートルも続き、約64品種220本のサクラが時期をずらして咲きます。また、東原桜並木、かみが沢公園でもサクラを楽しむことができ、花見に訪れる多くの方で賑わいます。



相模が丘仲よし小道



5月

チューリップポプラ

2

市役所東側広場にあるユリノキの上部に小さく咲きます。平成3年に座間市と米国テネシー州スマーナ市が国際姉妹都市となったことを記念してスマーナ市から贈られたものです。市役所の敷地内には、東側広場に2本、ロータリーに1本、西側道路沿いに2本、合計で5本が植えられています。



ユリノキに小さく開花します



6月

アジサイ

3

芹沢公園南側の「湿生植物コーナー」では、色とりどりのアジサイが咲き、ハナショウブと合わせて楽しむことができます。約200株のアジサイは、地域の皆さんの手入れによって大切に育てられています。



色とりどりのアジサイ

6月

ハナショウブ

4

「かながわの花の名所100選」に選ばれている立野台公園では、公園内東側の「菖蒲の里」で約250本のハナショウブが咲きます。中には希少な品種である「座間の森」が開花します。「座間の森」は江戸時代後期に作り出されたといわれ、白地に薄い藤色のぼかしが入り、中心は黄色、花びらは3枚で垂れているのが特徴です。



珍しい品種「座間の森」



8月

ヒマワリ

5

ヒマワリは、昭和44年1月に「市の花」として制定されました。ヒマワリの枝葉の深緑は、たくましく発展を続ける市を、また大輪の花は、市民の皆さんが手を結び合い、明るく健康なまちづくりを目指す姿を象徴しています。毎年8月中旬にひまわりまつりを開催し、座間のひまわり畑で約55万本のヒマワリが咲きます。



思わず写真を撮りたくなるひまわり畑

9月

曼珠沙華

6

曼珠沙華（ヒガンバナ）は、市観光協会が球根を植え、市内外から寄付を受けて数を増やし、現在まで約12万个の球根を植栽しています。かみが沢公園では、曼珠沙華が一面に広がり、秋の訪れを感じることができます。



一面に広がる曼珠沙華

10月

モクセイ



モクセイは、昭和55年に「市の木」として制定されました。みんなで樹木を守り育て、緑あふれるまちづくりをさらに進めようと、市民の皆さんが選びました。秋には、市内のいたるところでモクセイの香りが漂っています。



秋を感じさせるモクセイ

